

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大動脈弁 4D 評価を含めた TAVI 術前 CT 検査における造影剤量低減法の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年1月～2023年12月に昭和大学病院で TAVI 術前 CT 検査を受けられた患者さん

2. 研究目的・方法

大動脈弁狭窄症に対する治療法のひとつにカテーテルを用いた TAVI があります。TAVI 術前には、造影 CT 検査が必要となります。造影 CT 検査では、冠動脈と大動脈の形状を把握します。さらに 4D 画像による大動脈弁の動きと石灰化の分布も評価しております。大動脈狭窄症の症例では高齢かつ腎臓機能が低下している患者さんが多くいます。そのため腎臓へ悪影響を及ぼす恐れのある造影剤は少量である必要があります。また、大動脈弁狭窄症は心不全の原因となります。心不全においては体内水分の管理も必要となることから、造影剤量はできるだけ少ない量であることが望ましいとされています。従来の造影 CT 検査では造影剤量がシリンジ 1 本分の 100ml 必要となっていたが、撮影条件の検討をすることで減量することが可能となりました。そこで従来法と減量法において画質評価することを目的とする研究となります。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

TAVI 術前造影 CT 検査した患者さんの CT 値、造影剤量、身長、体重、心拍数、心拍出量を調査項目とします。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学病院 氏名 平野高望

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部 氏名：平野高望

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号： 03-6426-3122